

仙台駅周辺の大改造

(仙台駅前広場再整備・自由通路再整備・帰宅困難者対策)

仙台市都市整備局総合交通政策部交通政策課
推進係長 佐藤 桂

キーワード

①駅前広場再整備

②自由通路再整備

③帰宅困難者対策

昭和 56 年に現在の J R 仙台駅西口駅前広場が整備されてから約 30 年。駅の利用者は大幅に増え、バスターミナルやタクシープールなどで混雑が生じている。

また、仙台駅 2 階の東西自由通路は老朽化が進んでいるばかりでなく、現在の歩行者通行量に応じた適切な幅員を確保できていないなどの問題があった。

こうした背景から、本市では平成 27 年度の地下鉄東西線開業に合わせ、東西の駅前広場の再整備や東西を結ぶ自由通路の再整備に着手したところである。

また、東日本大震災の際には、広範囲で交通機関が麻痺し、市中心部において旅行者や大規模集客施設利用者、通勤・通学者など大勢の帰宅困難者が発生したことから、災害時における帰宅困難者対策についても取組みを始めたところである。